

第 56 回日本分娩監視研究会 プログラム

主 催 日本分娩監視研究会

会長 馬場一憲

当番幹事 自治医科大学附属さいたま医療センター
産婦人科 教授 桑田知之

会 期 : 2022 年 6 月 26 日 (日) 12:55～

会 場 : 川口総合文化センターLiLiA 展示ホール

開催テーマ: 「新型コロナ時代の妊娠分娩管理」

日本専門医機構「学術集会参加単位」が取得できます。
アドバンス助産師更新申請要件「学術集会」に該当します。

12:30～ 受付開始

12:55～ 開会あいさつ

当番幹事 自治医科大学附属さいたま医療センター 桑田知之

13:00～14:30 教育講演 1 「新型コロナ陽性妊婦の分娩管理」

座長 越谷市立病院産婦人科 西岡暢子

① 新型コロナウイルス陽性妊産褥婦の分娩・授乳育児支援

日本赤十字社医療センター看護師長 廣瀬孝子

② 当院の経膈分娩を含めた周産期 COVID-19 対応 ～災害対応を基本として～

国立病院機構埼玉病院産婦人科 服部純尚

日本専門医機構「産婦人科領域講習受講単位」が取得できます。
アドバンス助産師更新申請要件「選択研修」に該当します。

14:30～ 休憩

14:40～16:10 教育講演 2 「新型コロナ時代の胎児監視」

座長 自治医科大学産科婦人科学講座 高橋宏典

③ 在宅妊婦管理に向けた新たな取り組み ～iCTG 実証研究とその活用～

埼玉医科大学産婦人科 田丸俊輔

④ 島の産声を守るための 3 本の柱 ～ICT を駆使した離島医療の可能性～

名瀬徳洲会病院産婦人科 小田切幸平

日本専門医機構「産婦人科領域講習受講単位」が取得できます。
アドバンス助産師更新申請要件「選択研修」に該当します。

16:10～ 総会

16:25～ 「この CTG をどう読むか」

座長 自治医科大学附属さいたま医療センター 産婦人科 桑田知之
演者 福島県立医科大学 ふくしま子ども・女性医療支援センター 神保正利

16:40～ 一般演題

座長 自治医科大学産科婦人科学講座 鈴木寛正
自治医科大学看護学部 角川志穂

(発表 7 分、討論 3 分)

1) NRFS の診断で吸引分娩となった一例

公益財団法人東京都保健医療公社 荏原病院 小林真子、他

2) 人工破膜後に一過性徐脈が頻発した分娩第 II 期遷延の症例を経験して

福島県立医科大学附属病院みらい 3 階東病棟、他 中山 緑、他

3) 日本での助産所における分娩管理の実態～安全性に焦点を当てて～

自治医科大学看護学研究科 武藤香子、他

4) 無痛計画分娩中に臍帯脱出をきたし超緊急帝王切開術を要した一例

昭和大学江東豊洲病院 産婦人科 小松玲奈、他

5) 常位胎盤早期剝離を見落とさないために 胎児心拍数陣痛図で注意すべきこと

越谷市立病院産婦人科 星野将輝、他

6) Trial of labor after cesarean delivery (TOLAC) 中の子宮破裂：症例報告

自治医科大学産科婦人科学講座 伊東孝晃、他

17:40～ 次期当番幹事あいさつ

北里大学産婦人科 金井雄二

閉会あいさつ

当番幹事 自治医科大学附属さいたま医療センター 桑田知之